

案件概要書

2015 年 12 月 22 日

1. 基本情報

- (1) 国名：セネガル共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ティエス州ンブール県ジョアール市、ンブール市
- (3) 案件名：ンブール県水産資源管理・付加価値向上型水揚場整備計画（Project for Improvement of Aquatic Resources Management and Value-Added Fish Landing Facilities in M'bour）
- (4) 事業の要約：本事業は、ンブール県ジョアール市及びンブール市において、対 EU 輸出認証を受けた既存の水揚施設の改修、拡張を行うことにより、流通する水産物の付加価値向上及び零細漁業の輸出額の増加を図り、もって同国の持続的経済成長の後押しに寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国における水産セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

セネガルは西アフリカ地域有数の水産国であり、水産セクターは同国の輸出総額の約 14%（2013 年、経済財政計画省）を占める重要セクターである。このうち零細漁業は、水産セクターの年間総生産量の約 90%（398,214 トン、2013 年、水産局）、年間総生産額の約 65%（約 962 億 FCFA、約 197 億円相当、同左）を占め、約 60 万人が従事する重要な産業であるが、1990 年代以降、沿岸部における魚の小型化や減少が報告されており、持続可能な資源管理の必要性が高まっている。また、施設の未整備等により、零細漁業で漁獲された水産物の取扱い、特に漁獲から水揚段階までの水産物の取扱いにおける鮮度・品質劣化が問題となっており、相対的な付加価値の低下を招いている。このため、国家開発計画「セネガル新興計画（PSE）」及び水産政策「水産分野政策書簡（LPS）」では、水産資源の持続的管理と水産物の付加価値向上を優先課題に位置付けている。

ンブール県は、全国零細漁業生産量の約 40%（164,742 トン/年、2013 年ンブール県水産支局）を担う同国で最も零細漁業が盛んな拠点であり、うち 162,917 トン/年（2013 年、同左）の水産物を扱う、対 EU 輸出認証を受けた 2 つの水揚施設を擁するが、水揚浜から施設までのアクセスや水揚施設内の水産物取扱区画などに衛生・品質管理面の課題があり、EU から改善が求められている。このため、PSE の「優先活動計画（2014～2018）」ではンブール県の水産施設の整備を優先案件に位置付けている。

本事業は、ンブール県における対 EU 輸出認証を受けた 2 つの水揚施設の拡充・改修を通じて衛生条件を改善することにより、水揚段階での品質の劣化を抑えて EU などへの輸出基準を満たす水産物の流通を促進し、もって同国の零細漁業による水産物の輸出拡大を目指すものである。なお、セネガル政府は、本事業サイトで水揚げされるタコ等の水産物の日本への輸出も計画しており、本事業による施設整備と本事業サイトで実施中の技術協力との連携により、同国水産物の対日輸出の拡大につなげることを目指している。

- (2) 水産セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

本事業は、我が国のセネガル国に対する国別援助方針における重点分野「持続的経済成

長の後押し」に合致し、協力プログラム「持続可能な漁業振興プログラム」に位置付けられる。また JICA は、水産資源の共同管理を目指したマスタープラン及びアクションプランの策定を念頭に、ンブール県を対象にした開発計画調査型技術協力「バリューチェーン開発による水産資源共同管理促進計画策定プロジェクト（PROCOVAL）」（2014 年～2017 年）を実施しており、本事業サイトで実施中のパイロットプロジェクトでは、現地水産会社・企業団体と連携し、水産物の鮮度・品質の改善等を含む輸出向けバリューチェーンの開発に取組み、漁業者の生計向上を通じて資源管理活動を促進している。また、ンブール県を含む地域において、零細漁民主体の水産資源管理活動の実施促進を目的とした技術協力プロジェクト「漁民リーダー育成・零細漁業組織強化プロジェクト」（2009 年～2013 年）を実施した。

（３）他の援助機関の対応

世界銀行及び EU が水産資源の持続的な利用に係る支援を実施（それぞれ 2010～2015 年、2013～2017 年）。その他、USAID が漁業関係者の能力強化に係る支援（2011～2016 年）を、また FAO が JICA、世界銀行、USAID と連携して LPS の改訂支援（2014～2015 年）を実施している。

（４）本事業を実施する意義

本事業は、セネガル国の開発優先課題に合致しており、貧困層が多い零細漁業者への裨益を念頭に置いた事業である。また、本事業は PROCOVAL で策定中のマスタープラン及びアクションプランの一部を構成しており、PROCOVAL と並行して実施することが開発効果発現の観点から望ましい。また、我が国政府が当国を水産外交上重要な国の一つとして位置付け、本無償資金協力事業を活用した水産外交を展開する方針を示していることから、本事業の実施を支援する必要性及び妥当性は高い。

３．事業概要

（１）事業概要

① 事業の目的：本事業は、ンブール県ジョアール市及びンブール市において、対 EU 輸出認証を受けた既存の水揚げ施設の改修、拡張を行うことにより、流通する水産物の付加価値向上及び零細漁業の輸出額の増加を図り、もって同国の持続的経済成長の後押しに寄与するもの。

② 事業内容：概要は以下のとおり。協力準備調査にて、施設の必要性、妥当な規模、持続的運営・維持管理の可能性を慎重に検討した上で、適切な内容に絞り込む。

i. 施設・機材等：

【土木・施設工事】既存水揚げ施設の改修・整備

【機材】冷蔵庫、保冷库、ステンレステーブル、エアコン、高圧洗浄機、電熱殺虫器、事務機器

ii. コンサルティングサービス／ソフトコンポーネントの内容

【設計・施工監理】：詳細は協力準備調査にて確認する。

iii. 調達・施工方法：詳細は協力準備調査で確認する。

③ 他の JICA 事業との関係：実施・派遣中の開発計画調査型技術協力「バリューチェーン開発による水産資源共同管理促進計画策定プロジェクト」（2014 年～2017 年）及び個別専門家「水産行政アドバイザー」（2015 年～2017 年）を通じて、プロジェクトサイト

における水産資源の最適な付加価値化に向けた取組を行っている。

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制：漁業・海洋経済省水産局及び企業水産加工局（Direction of Fisheries and Marine Economy/Direction of Fisheries Industry and Processing, Ministry of Fisheries and Marine Economy）

② 他機関との連携・役割分担：なし

③ 運営／維持管理体制：

実施機関である漁業・海洋経済省水産局は、「漁業管理部」、「零細漁業部」、「企業型漁業部」で構成され、本事業は「零細漁業部」の管轄となっている。また、同省内の企業水産加工局は、「水産品促進・付加価値部」「検査監督部」「産業規制・モニタリング部」で構成され、本事業ではEU輸出認証に関する業務を行う「検査監督部」と連携する。詳細は協力準備調査で確認する。

(3) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 ☐A ☒B ☐C ☐FI

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）に掲げる港湾セクターのうち大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ、同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

(4) 横断的事項

① 貧困削減促進：漁業を営む零細漁民の収入向上が期待される。

② 社会開発促進（エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等）：協力準備調査にて確認する。

(5) ジェンダー分類：ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

(6) その他特記事項：特になし

4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

カメルーン国の無償資金協力事業「零細漁業センター整備計画（2005年度）」の事後評価等では、施設の財務・運営管理体制に不備があったことから、施設運営に支障を来したと指摘されている。本事業では、協力準備調査にて当国の施設運営・維持管理計画を慎重に確認し、先行する開発計画調査型技術協力で運営維持管理体制の整備を進める等の検討も含め、十分な精査を行う。

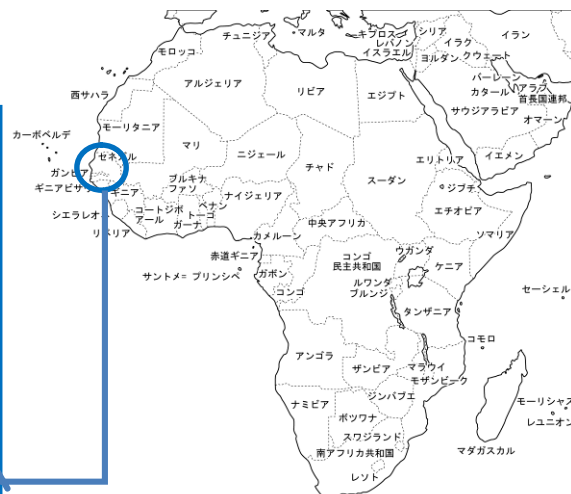
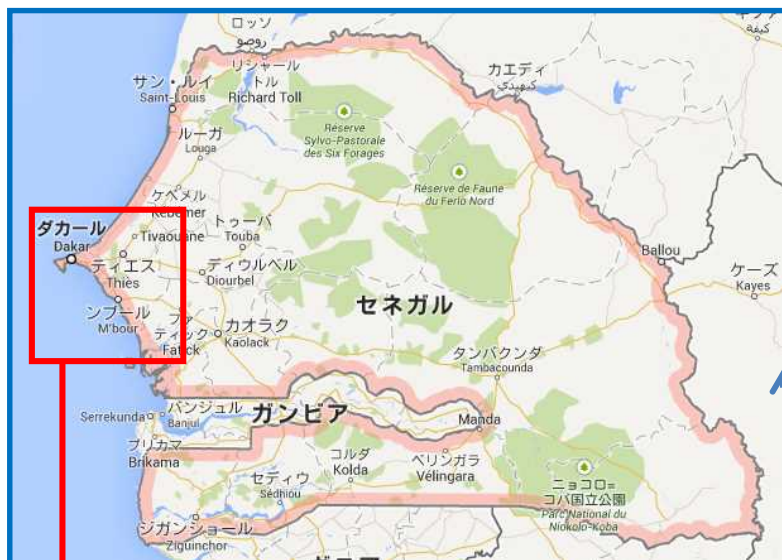
以 上

[別添資料] 地図

別添：「ンブール県水産資源管理・付加価値向上型水揚場整備計画」地図

アフリカ大陸

セネガル共和国



案件対象地域

